

県 公 連 昭 和 3 8 年 度 予 算

才 入

款 項	目	昭和38年度当初	昭和37年度当初	増 減	備 考
1.分 担 金		1,156,100	800,000	356,100	
(1)分 担 金		1,156,100	800,000	356,100	
	1. 分 担 金	490,100	368,000	122,100	
	2. 特別分担金	666,000	432,000	234,000	
2.県 補 助 金		600,000	500,000	100,000	
(1)県 補 助 金		600,000	500,000	100,000	
	1.県 補 助 金	600,000	500,000	100,000	
3.県 特 別 補 助 金		350,000	—	350,000	
(1)県 特 別 補 助 金		350,000	—	350,000	
	1.県 特 別 補 助 金	350,000	—	350,000	
4.繰 越 金		120,000	40,000	80,000	
(1)繰 越 金		120,000	40,000	80,000	
	1.繰 越 金	120,000	40,000	80,000	
5.雑 収 入		99,300	89,300	10,000	
(1)雑 収 入		99,300	89,300	10,000	
	1.過 年 度 収 入 料	9,000	9,000	—	
	2.資 料 販 売 料	50,000	50,000	—	
	3.換 付 金 入	20,000	20,000	—	
	4.雑 収 入	20,300	10,300	10,000	
	合 計	2,325,400	1,429,300	896,100	

才 出

款 項	目	昭和38年度当初	昭和37年度当初	増 減	備 考
1.事 務 費		700,100	569,560	330,540	
(1)給 料, 諸 費		477,100	257,560	219,540	
	1.給 料 手 料 当 金	402,000	257,560	144,440	
	3.掛 金	48,600	—	48,600	
(2)旅 費		26,500	—	26,500	
	1.旅 費	48,000	33,000	15,000	
(3)需 要 費		48,000	33,000	15,000	
	1.備 品 費	175,000	79,000	96,000	
	2.消 耗 品 費	90,000	13,000	77,000	
	3.通 信 運 搬 費	50,000	40,000	10,000	
	4.雑 費	30,000	25,000	5,000	
		5,000	1,000	4,000	
2.事 業 費		1,215,000	1,012,400	202,600	
(1)大 会 費		170,000	130,000	40,000	
	1.大 会 費	170,000	130,000	40,000	
(2)会 議 費		150,000	120,000	30,000	
	1.評 議 員 會 費	20,000	15,000	5,000	
	2.役 員 會 費	70,000	70,000	—	
	3.館 長 會 談 費	20,000	—	—	
	4.主 事 會 常 幹 費	40,000	—	—	
(3)研 修 事 業 費		40,000	35,000	5,000	
	1.研 修 事 業 費	160,000	160,000	—	
(4)月 報 發 行 費		160,000	160,000	—	
	1.報 償 費	500,000	412,400	87,600	
	2.取 材 費	22,000	10,000	12,000	
	3.印 刷 費	96,000	80,000	16,000	
	4.編 集 委 員 會 費	288,000	240,000	48,000	
	5.発 送 諸 費	15,000	10,000	5,000	
(5)連 絡 費		79,000	72,400	6,600	
	1.全 國 大 會 費	135,000	106,000	29,000	
	2.中 央 等 會 議 員	60,000	40,000	20,000	
(6)振 興 費		75,000	66,000	9,000	
	1.県 内 振 興 費	100,000	84,000	16,000	
	2.資 料 費	45,000	30,000	15,000	
		55,000	54,000	1,000	
3.特 別 事 業 費		350,000	—	350,000	
(1)特 別 事 業 費		350,000	—	350,000	
	1.青 少 年 指 導 者 充 充 研 修 費	350,000	—	350,000	
4.負 担 金		48,000	44,000	4,000	
(1)負 担 金		48,000	44,000	4,000	
	1.負 担 金	48,000	44,000	4,000	
5.予 備 費		12,300	3,340	8,960	
(1)予 備 費		12,300	3,340	8,960	
	1.予 備 費	12,300	3,340	8,960	
	合 計	2,325,400	1,429,300	896,100	

国土美化と公民館活動

子孫のためにという気概が必要

関ブロ地区の主事たちが研究協議

三月十八・十九日の二日間、東京の全国町村会館で、関ブロ地区公民館主事会関係者など約四十五名を集め、国土美化と公民館活動研究協議会が開催された。この会議は全公連と新生活運動協会の共催で行なわれたもので、第一日は国土美術運動と公民館活動について、第二日は公民館の振興対策について協議、本県からは杉野主事(県主事会幹事長・新井市)・本田主事(県公連事務局)の二名が参加し、それぞれ本県の現状を報告するとともに他都県の状況などを聞いてきた。両日とも主として情報交換に終始したが、基本線を確認しあい散会した。話し合われた内容のおもむきものを中心として次のとおり。

× ×

研究協議(一日)

国土美化運動と公民館活動
 松井千稔公連会会長
 助言者
 新生活運動協会の
 国土美化運動部
 花いっぱい運動だ
 という考え方があ
 る。誰がやるか
 どこの機関でやる
 り手がなないので公
 民館はなげなしの
 予算を出してやっ
 てくれるのだ、新生
 活運動予算一億四
 千万ほどのように
 使われているが、
 (助言者)人口

公民館活動

二十万以上の都市へ約二千万円、
 二十六都府県に各三万所ずつのヒデ
 ル地区を指定しこれに約八千万
 円。放送新聞関係のPR費とし
 て約四千万円となっている。
 (新井市)集会には時間を守り
 下足を自分でしきつするようフロ
 シキ、紙の用意をするよう三年ほ
 ど前から指導し効果を上げてい
 る。豪雪地帯では「ゴミの処理に自動車
 というのも意味がなくなるので
 まず自分の家庭を美しくという運
 動をしている。

協賛懇談(第二日)

(群馬)国土美化運動は公民館
 からというよりテーマでおとな
 子層を出してやっ
 ているのだ、新生
 活運動予算一億四
 千万ほどのように
 使われているが、
 (甲府市)欧米を模倣してみる
 と、よきの国は小さいにしてい
 る。マッチを捨てる者が一人もい
 ない。公園に行ってみると「あな
 たが持っているのはカメラの中の
 のゴミ箱を備える運動」をしてい
 写真だけですよ。残して行くのは
 足あとだけですよ」というウツ
 トに驚いた表示がしてあった。人
 々に注意してやるといことが美
 徳になっている。甲府市ではこの
 方法をとり入れて「人々に注意を
 する運動」というものをやると成
 果が上がっている。人のタバコす
 いがらでも市長したり注意され
 りが習慣化してきている。
 (高崎市)「ゴミ箱を道路に埋
 没する運動」というのをやると
 道路交通法にひっかり悩んでい
 る。
 (新潟)新潟では花いっぱい運
 動と交通安全運動の矛盾が話題に
 なっている。
 (群馬)各家庭にしっかりと
 チリ箱さえ置かないといことが
 子供にチラチラス習慣をつけさせ
 る。

公民館の振興対策について

この懇談会は、全公連と第一線
 の公民館職員との間にパイプを
 おし、結びつきを緊密にするとい
 うことをねらいとして、全国の他
 ブロックに先がけてはじめて開催
 されたもの。

- 全公連の強化はまず各県公連の
- 各県振興共国会議員と各県公連とのつながりをつける必要がある
- 先決である。
- 先決である。
- 先決である。

環境衛生都市宣言とか、何々宣言
 とかで、政策的教育的に解決しよ
 うという傾向があるが、これのみ
 でもなだた。公民館は解決への足
 がかり、橋渡しの役割をはたし
 たい。
 (全公連事務局)同感である
 われわれ一代では実現不可能た
 ら、公民館は常にムードづくりを
 忘れないことだ。具体的な方法の
 一つ二つを紹介すると、山形市の
 公民館では、山梨の花と他県の花
 の種子を交換し、父兄が子供の手
 を指りながら教育的な成果もあ
 げている。
 農山漁村協会に常備してあるソ
 ンシートを有線放送を通じて利用す
 るという方法もある。
 私がオランダを観察したとき、
 えんえんの壮大な海水を防ぐ堤防
 があって、その堤防にこんなと
 が書いてあった。「われわれは子
 孫のためにこれを築く」。非常に
 感動を受けたが、このような気持
 をもち続けながら、公民館人は実
 踐者とならなければならぬ。

ベテランのプロ

見附市今町公民館主事 大島順平氏

見附市今町公民館主事 大島順平氏
 一見柔和そうな「じいちゃん」という愛称で
 この大島さん、ひんぱんに親しまれ、血気の多い、
 とたびとどき、若くは無法者のなかにまじり、刃
 ば、満座が一し。物言のけんかでもあつと、唯
 ん静まり返る。胸の止め男として貴重な存在で
 切れのまよと凛もあつた。青年心理にも通じ、
 (りん)とした 現在地元の高年学級を成功に導
 たすまいのなかにいるのも意外このころにそ
 に、この人の積み重ねの素地が培われたのかも知れ
 重ねられた二ド。ない。
 を感じさせるから 趣味は刀剣で、三度の飯より
 好き。十五、六才より打ち



シベリアのラゲル生活では
 ハツ夫人(四三)との間に
 年ごろの小夜子さん(二二)
 以下一男三女があり、とき
 まハバロスクじの「天ぷ
 ら揚げ」の特技を、さる
 いるよきお父さんである。
 (編集後記)

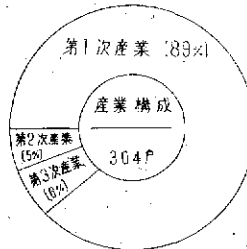
● ● 変ぼうする農村の現状と問題点 ● ●

新井市公民館水原分館 今井 信夫

さる2月14日直江津市中央公民館で上越公民館連絡協議会研究発表会が関係者約50名を集めて行なわれた発表者は上越公産が委託した高田、直江津、新井、板倉などだったが、このうちから特に新井市公民館水原分館の今井主宰の「変ぼうする農村の現状と問題点」と題しての研究を紹介する。

私の居住する水原地区は旧中頸城郡水原村で、昭和31年9月30日新井市に合併した。人口約1900人の小さな農村地帯であります。地域は、市の中心部から約13km東南に在って標高は最低250m最高500mで、黒倉山(1288m)の山麓に約304戸が散在しております。この様な地域のため耕地面積も非常に少なく、水田148ヘクタール、畑121ヘクタールで、1戸平均すると水田では約54アール、畑では45アールと言う貧弱なものであります。更に産業構成を見ますと僻地農村特有の性格を示し、農林業を主とする第一次産業が270戸で89%を占めております。なお第二次産業が15戸で5%第三次産業が19戸で6%と微々たるものであります。

図表第1



この様に、農業を主として生活をしているわけですが、耕地は前に述べた通り、山間地にあるため水田のほとんどが天水田でしかも10アール当り数枚、数拾枚に小さく区割されている通称段々畑であって、牛馬等の勞力によって耕作出来る面積は、耕地の約半数に満たせん。こうした事から労働は人力にその大部分をゆだねるという

事になるのですが、何分にも山間地における五反百姓といわれる身では時代の波にさからう事が出来ず最悪の場合は生活費を大巾に切り詰めなければならなくなって来た。このため農業期は家庭に於いて農業を行ない農閑期には出稼による収入を得る事になる。これにより、人力削減が問題となり併せて農業機械化のブームにあおられてか、最近は相当導入されて来たその一例を埒山部落に見ると次の通りとなる。

- 耕耘機 12台 46% (2.08戸に1台)
- モータ 22台 85% (1.1戸に1台)
- 脱穀機 22台 85% (")
- 調整機 22台 85% (")
- 牛 19頭 78% (年々減少の傾向)

この様に農機具の普及と農業生産の合理化と増収を図るため肥料、農業等の使用量増加により農業所得の大部分は農業経営の必需経費に投資されるうになり、生活費は兼業或は出稼による収入に頼らねばならない現状にあります。では専業農家、兼業農家、出稼農家の経営状態を前記同様平山部落に見ると

- 専業農家 6戸 22% (平均水田保有1町5畝)
- 兼業農家 7 " 28% (" 5反3畝)
- 出稼農家 11 " 41% (" 4反2畝)
- その他 3 " 11% (" 0)

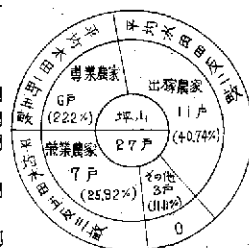
次の農家の経済内容を調べてみる

1. 専業農家 水田1町1反
畑2反 家族成人3人
子供1人
収入 農業現金収入 400,000円
支出 飼料 10,000円
雇人料 30,000円
ガソリン電気代 16,000円
肥料・農薬代 35,000円
農機具代 50,000円
生活費 194,400円

新潟県の農家の生活費の基準は6,750円で、その中4割

図表第2

埒山部落の経営構造



は農家の自給率としているので、1人の生活費は4,050円となり、4,050円×4=16,200円

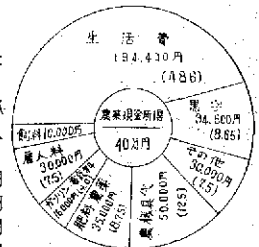
- 1年では 194,400円
- その他 30,000円 (種子代等農業雑費)
- 支出合計 385,400円

家族 成人3人 子供1人
耕作反別 水田1町1反
畑 2反

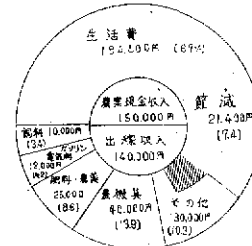
図表第3 専業農家

となり34,600円の赤字が見込まれております。

2. 出稼農家 水田6反7畝
畑1反5畝 家族成人4人
収入 農業現金収入 150,000円
出稼収入 140,000円
計 290,000円
支出 飼料 10,000円
ガソリン・電気料 12,000円
肥料・農薬 25,000円
農機具代 40,000円
生活費 194,400円
その他 30,000円(種子代等農業雑費)
支出合計 311,400円



図表第4 出稼農家



兼業収入 84,000円
計 174,000円

この兼業収入は、会社に勤務する子供の送金による

- 支出 電気料 2,500円
- 肥料農薬代 13,000円
- 農機具代 10,000円
- 生活費 194,400円
- その他 15,000円(種子代等農業雑費)
- 支出合計 234,900円

家族 成人2人 子供2人
耕作反別 水田5反
畑 1反5畝

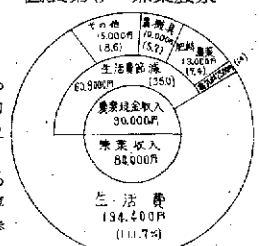
図表第5 兼業農家

兼業 会社勤務者による送金
となり80,900円の赤字となる

事になります。この結果大巾に生活費の節減を図らなければならなくなっている。

以上の結果、山間農村に於ける生活は、先づ農業を主とする専業農家に於いては、最低1町歩以上の耕作水田を要し、出稼、会社勤務をする人間を要する通称5反百姓と言う農家において第二種兼業農家として、農業以外の収入を主として考えなければならず、第一種兼業農家として生計を保つ事は非常に困難であるという事を物語っており、その対策が重大な問題となっている。

さて、前に述べたように、生活費を維持するためには、出稼等によって収入を得なければならぬと申しましたが、次の出稼の現状を見てみますと、農閑期を除いては、青年は勿論、世帯主或は婦人までも出稼に出ます。まず青年男女は、春、夏は完全農閑期と言えないので比較的近くの通勤出来る処へ臨時雇として勤め、冬期間になると近くに仕事も少い関係上、雪のない地方へ2~3ヶ月間の長期に亘って働きに出ます。(以下次号)



三宅猫日記

No.3 うつきかす



新版文弥人形



影を受けたのがよきはなむけとなつてしました。全く夢のようで信じられません。南無阿彌陀仏を称えながら、安らかに冥伏されることを祈ります。
(栃尾市公民館主事)

熊倉修造氏の殉職を悼む

旅

伊藤新作

あの日のこと

飯浜一郎

犀川湖は静かだった。原始林の
なかの静明だった。薄明のなかに
神の島、カミエ島があった。わ
すかな霧のはれまだった。
「美眼時ほしのびる夕陽、幻の
のよつにつかふ屈斜路湖に、私た
ちはおもわず窓をあけぬわけには
いかなかった。私も熊倉さんも、
ただおし黙ったままだった。美晴
の里の明りがみえはじめたとき、
それは旅愁だった。
九月の――旅愁だった。
熊倉さんがなくなった。――そ
の朝、新出をもつ私の手はおのの
いた。信じられなかった。そんな
ことがあるはずはなかった。二人
で阿寒を旅してから半年もたつて
いないのだ。熊倉さんは快活に笑
っていた。私と同じコースをとっ
たことを喜んでいた。熊倉さんと

三月二日午後四時十分頃「教育もよの静かで元気がないよつにも
委員長と庶務課長が熊倉校長の下
敷きになり、ためらしい即刻登庁
せよ」との連絡があったので教委
事務局へ出頭、テナンヤの大
騒ぎ工塵退庁後の惨事、まるで戦
闘司令部そっくりでした。
思い出せば、熊倉氏は、同日朝
課長転補直後、熊倉小の火災、そ
久しぶりに公民館を訪ね、例の調
子でへらす口をたいておられた
騒ぎ工塵退庁後の惨事、まるで戦
闘司令部そっくりでした。
一月一日付で公民館長から庶務
課長転補直後、熊倉小の火災、そ
久しぶりに公民館を訪ね、例の調
子でへらす口をたいておられた
騒ぎ工塵退庁後の惨事、まるで戦
闘司令部そっくりでした。

話にはならなくなつてしまつた。
私だけの記憶になつてしまつた。
ほんとうになんといふことをし
てしまつたのだろう。人なつっこ
い熊倉さんの笑顔と、霧の旅がい
ま私の胸をしめつけるのである。
(県社会教育主事)

貸しホール業の公民館がかなり
多い反面、日常生活に役たつ事業を
計画する公民館が乏しいといふ
公民館運営状況の実態調査の一部が
文部省でまとめられた。
この調査は、昨年三月、同省がこ
んの事業内容の整備にあつたた
め、全国市町村立の公民館約七千七
百館について調査したもの。今回の
調査で、約半数の公民館が
日曜・祝祭日以外に随意休
館している。主権行事は産
業・家系関係の利用率が低
く、逆に婦人学級の利用率
が高くなつている。歴史会
は品評会的な色彩が濃く、
こなどが公民館の運営の
実態として明らかにされ
た。調査結果のあらましは
次のとおり。

婦人学級が活発

市町村公民館の事業

婦人学級で、七五〇以上の公民館
が開設している。ついで映画会、
青年学級、成人式、老人の日など
の年中行事の順。さらに教育的集
会や選挙啓もう集会などを主催し
ているのは全公民館の約半数。母
親講座や時事講座などの教養講座
の開設率は三五〇を割つている。
さらに音楽講座や速記・ペン習字
などの実用講座の開設率は五
〇を割り、全国的に低い実用
講座もとくに独立施設をもつ
公民館では増加傾向にある。
▽事業内容 日教では青年学
級が一館あたり平均八日十餘
りついで婦人学級五十二日、
洋和教養講座六日、書道五十
四日の順。新生運動乗車会や
歴史会は五日から十日た
らす。また青年成人学級の学習
方法は講義方式が圧倒的に多
く、話し合い方式も多
く、映画の利用四〇〇多、ス
ライドの利用学級はわずか六
つ。歴史会は生け花、手芸書
道展など目まぐるしい展不展が多
く、衛生服・生活改善展など
の事業に力をついでいる展不展の開催
は低率。一公民館で年間一種類の
表題が大平を占めている。
▽事業費 年間経費二十万円未満
が総館数の過半を占め、二十万
から五十万円未満が約二〇、五十万
から百万未満が二〇、一館
あたり平均で四十万円前後で経費
の面からも看板公民館、名目公民
館がいせん多い。
(日本教育新聞による)

